

# まちの話 だい

## 4月21日 | 威勢良く取り引き開始

市内各地の新茶が順調に育ち、島田地域ではこの日、新茶初取引式が開かれました。

昨年より2日早い式には、早朝から生産者や茶商など多くの茶業関係者が出席し、三本締めが続いて取り引きがスタート。売り手と買い手はそろばんを弾いて価格を交渉し、商談が成立する度に「シャン・シャン・シャン」と威勢の良い手合わせの音を、会場に響かせました。



## 4月11日 | 伝承の舞を姉妹が奉納

東光寺の日吉神社で、300年以上も前から伝わる「猿舞」が、古式ゆかしく奉納されました。

雌雄の猿の面を付けた地元の子ども2人がユーモラスに舞うこの猿舞は、県の無形民俗文化財に指定されています。あいにくの雨のため、今年の舞台は山頂の拝殿内。亀山優菜さん・ほのかさんの姉妹が、小猿かめやまゆうなの面を被って三種の舞を披露し、五穀豊穡と無病息災を祈願しました。

## 4月7日 | 黄色いバッグで交通安全

市交通安全対策協議会は、新入学児童の交通安全を願い、市内の新小学1年生約850人全員に、黄色い「通学バッグ」を贈りました。

島田第三小学校では、入学式で45人の新入学児童に通学バッグなどを贈呈。代表の児童3人は、島田署員・交通安全協会交通安全指導員・市交通指導員からバッグを受け取ると、交通マナーの順守や交通事故防止を約束しました。





## 4月25日 | 川根にあふれる笑顔と鯉

川根地区の両現<sup>りょうげん</sup>スポーツ広場で、地元有志団体による「こどもまつり」が開催されました。

このイベントのテーマは、自然の中での「買う・見る・遊ぶ・体験」。会場は、飴細工や竹細工、ゲーム大会やステージ発表など楽しい催しがあふれ、多くの家族連れでにぎわいました。また今年、大井川を横断する鯉のぼりが6年ぶりに復活。100匹以上の鯉が、大空を悠々と泳いでいました。

## 4月21日 | 地元の新茶を一足先に

新茶シーズンの到来をPRしようと、市役所ロビーで新茶の無料呈茶サービスが行われました。

市茶業振興協会島田支部から提供された茶葉は、日本茶インストラクターらにより一煎一煎、最適の温度で茶器へ。茶娘が来庁者に声を掛けると、多くの市民の皆さんが、思わぬサービスと振る舞われた新茶の滋味、そして「えい茶いくん」の登場に頬を緩めてくれました。



## トピックス

### 島田大祭が大御所家康公の元に



4月5日、徳川家康公顕彰400年を記念する特別イベント「日本のまつり」が静岡市で開かれ、全国有数の祭りの一つとして、島田大祭が参加しました。

雨のため静岡市民文化会館に会場を移し、絢爛豪華な大名行列を披露。大きな赤い房を宙に舞わせる「大鳥毛」<sup>けんらんごうか</sup>や、丸帯を左右の木太刀に掛けた「大奴」<sup>おおとりげ</sup>が登場しました。100年前の「久能山東照宮300年祭」にも招待された元禄絵巻の再現は、多くの観客の目を引きつけました。